



平成22年11月2日
国土交通省
河川局河川計画課

【問い合わせ先】

国土交通省河川局河川計画課 大槻・館
代表 03-5253-8111 (内線: 35342, 35353)
夜間直通 03-5253-8444

平成22年10月の豪雨により被災した
ベトナム中部の現地調査結果

国土交通省は、10月8日にベトナム国農業農村開発省(MARD)と締結した「治水及び気候変動適応策の分野における協力に係る覚書」に基づき、10月はじめからの記録的大雨による洪水で被災したベトナム中部地域に対し、6名からなる調査団による現地調査を実施しました。

10月14日から再びの大雨(第2波)にみまわれるハ・ティン省、クワン・ビン省等に入り、ベトナム国からの要請に基づいて各省での現地調査と技術的な助言の実施、MARDに対する調査の速報を行い、このたび帰国しました。

ベトナム側からは、日本からの引き続きの協力が求められました。

1. 派遣期間

平成22年10月16日(土)～26日(火) (11日間)

2. 調査団

名波義昭	国土交通省 総合政策局 国際建設管理官 (19日まで)
大槻英治	国土交通省 河川局 水利技術調整官
佐々原秀史	(独) 水資源機構 総合技術センター国際グループチーフ
松村貴義	(独) 水資源機構 木津川ダム総合管理所 管理課長
松木洋忠	(社) 国際建設技術協会 研究第二部長
三浦博久	JICA 長期専門家 (ベトナム国中部地域災害に強い社会づくりプロジェクト)

3. 行程

10月16日	ベトナム着
17～18日	被災状況調査と現地意見交換 (ハ・ティン省: 被災状況調査、省等と意見交換)
19～24日	被害箇所事例調査と各省対策委員会への助言 (ハ・ティン省、クワン・ビン省等: 個別被災箇所調査、各省の対策委員会への助言)
25日	MARD副大臣等へ調査速報の実施
26日	帰国

4. 概要

(1) 被災状況調査と現地意見交換



大雨第2波が続く中での現地調査



ホック副大臣、ハ・ティン省幹部ほかとの
現地での意見交換

(2) 被害箇所事例調査と各省対策委員会への助言



山間部との連絡道路兼用堤防の流出



衛星写真（JAXA 提供）を用いた氾濫の
メカニズムと被害分布の整理手法の解説

(3) MARD副大臣への調査速報の実施



タン副大臣による報告会開会



ベトナム政府関係者を交えた意見交換

○タン MARD 副大臣等へ提言事項(抜粋)

- ・被害状況の全体像を、空間的に時系列で把握することが必要
- ・流域単位の洪水対策を、各省レベルで検討することが必要
- ・中長期対策としては、国レベルの防災マスタープランが必要
- ・国道1号、南北鉄道の途絶によるベトナム経済への影響把握が必要

<別添資料1> ベトナム中部における洪水被害について